

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第1回 所沢市行政経営推進委員会
開 催 日 時	令和2年11月24日(火) 午後6時から午後7時20分まで
開 催 場 所	市役所高層棟6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	池田 英樹、石川 久、依田 素味、宇佐美 保政、加藤 剛毅、 外岡 章禎、堀内 清則
欠 席 者 の 氏 名	平岩 敏和
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略総括報告について (2) 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に ついて (3) その他
会 議 資 料	資料1 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表 資料2 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 資料3 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る 考え方
担 当 部 課 名	経営企画部長 川上 一人 経営企画担当参事 市川 勝也 経営企画課主幹 平栗 正之 経営企画課主査 松本 しのぶ 経営企画課主査 谷口 周 経営企画課主任 林 真琴 経営企画部 経営企画課 電話：04-2998-9027

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>石川委員長司会のもと議事を進行。</p> <p><u>（１）所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略総括報告</u></p>
委員	<p>担当より、資料 1 に基づき、所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について報告を行った。</p> <p>本議事についての意見や質疑応答は、以下の通り。</p> <p>資料 1 P7「みんなの安心を UP」のところで、PTA の役割について言及したい。働きに出ている親が多いので、PTA が重荷となり、所沢で子育てしにくいという意見が耳に入った。何か考えなければいけないのでは。</p>
副委員長	<p>PTA は学校単位。任意団体であるし、PTA を廃止したところもあると聞いている。プロジェクト制にし、運動会の手伝いなど必要な時だけ機能するような、常設の PTA をなくしているところもある。</p>
事務局	<p>PTA については任意の組織であり、行政の仕組みとして作っているわけではないので、総合戦略には書きづらい。教育委員会にご意見を伝えることは可能であるが、課題を解決する方向に伝えられるか、ということは即答できない。伝え方は検討させていただきたい。</p>
委員	<p>役員決めの際に、出向いた親たちの中から役員を引き受けざるを得ないという状況があることは、お伝えしておく。先生や親の負担がなるべくないように、PTA について検討いただきたい。</p>
委員長	<p>本来の PTA の役割を果たすためにどうすると良いか、工夫をしていただくと良いのでは。</p>
委員	<p>全体を通しての感想になるが、総合戦略が順調に進んでいるのは、何より。所沢市については、客観的に見ても実績は上がっていると思う。</p> <p>質問だが、資料 1 P9 の住みよさランキングが下がっている原因として考えられることは何か。</p>
事務局	<p>令和元年度から対象項目が一部変更となった。全国的に人口が減っている中、所沢市は人口をキープしている状況にあるが、人口に対する病院・店舗の面積等が項目となっているものがあり、順位を下げている要因として考えられる。</p> <p>地方創生とは逆行する結果が導かれることもあり、この指標は以前から見直した方がよいとの意見もあったため、第 2 期では見直す予定。</p>

委員	資料1 P11の30～40歳代転出入状況について、29年度が下がっている理由は何か。
事務局	<p>29年度が下がった原因はわかっていないが、周辺の市町村でマンションなどの集合住宅などが出来て、人口が流れた、ということが考えられる。</p> <p>所沢市も所沢駅前の再開発を行っており、短期的に見ると、上げ下げが出てしまうと思われる。</p> <p>所沢市としては、50年先を見据えて、なだらかに人口減少に着地するように考えていこう、そのために所沢の魅力を上げていこう、という視点でいる。</p>
委員	資料1 P10 昼間人口について、グラフでは目標と実績の乖離が進んでいるように見えるが、実績は5年ごとに調査される国勢調査の数値で、この間、変わりえないものであり、成果が上がらなかったように見えてしまうのはいかがなものか。また、今後テレワークが進むことで、昼間人口にどんな影響があるか、現段階でわかる範囲でお答えいただきたい。
事務局	<p>昼間人口について、テレワークを行っている実情は今回の国勢調査では、そこまで明確に反映されないのではないかと考えている。</p> <p>会社事務所を分散して所沢市に設置された場合、従事している場所として、所沢市を書くことになるので、そうすると、昼夜間人口が変化すると思われる。その例が株式会社KADOKAWAである。株式会社KADOKAWAでは、飯田橋とところざわサクラタウン、どちらに出勤しても良いとする話を聞いている。</p> <p>従事する場所の概念が変化することに伴い、統計の取り方自体が今後変わるのではないかと考える。</p>
委員	資料1 P2「産業用地創出」のところで、COOL JAPAN FOREST 構想北側について、そもそも所沢市として、どんな企業を誘致したいと考えているのか。リモートをきっかけに地元・所沢市内で働きたいという相談を受けた際、どういうところで所沢市と連携をとっていけばいいか。
事務局	松郷工業団地については、先端産業のIT、コンテンツを扱うような企業を誘致したいと考えている。市内に事務所を構えたいということであれば産業振興課へご相談いただくと、有難い。
委員	資料1 P5「まちの魅力をUP」のところで、埼玉西武ライオンズとの連携を考えないのか。全国に12球団しかないうちの1球団・埼玉西武ライオンズが市内にあるので、魅力をUPするために、何かできることがあるのではないか。
事務局	埼玉西武ライオンズとは、プロスポーツの連携協定を結んでお

	<p>り、イベント時に球団のOBに来ていただくなどの対応をしている。市としては、今後もコラボレーションを深めたいと考えている。資料 2 P18 でも埼玉西武ライオンズについて記載しており、今後も展開していく予定である。</p> <p><u>(2) 第 2 期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について</u></p> <p>担当より、資料 2、3 に基づき、第 2 期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について説明を行った。 本議事についての意見や質疑応答は、以下の通り。</p>
委員長	<p>前回の方向性を引き継いで貫くのはわかったが、新しい方向性は。</p>
事務局	<p>国が進める Society5.0 に対応できるよう、文言整理等している。</p>
副委員長	<p>資料 2 P17 に記載のインフルエンサーは、具体的にイメージしている人がいるのか。既にそのような人がいるのか。</p>
事務局	<p>COOL JAPAN FOREST 構想の推進に関しては、株式会社 KADOKAWA や商業観光課では、狭山湖やところざわサクラタウンに台湾、韓国、中国などのインフルエンサーを呼んで、情報発信してもらっている。株式会社 KADOKAWA は、声優の古谷徹さんをホテルに呼んで、ツイッターで発信していただいている。</p>
委員	<p>資料 2 P11 の所沢駅周辺の開発について、西口区画整理だけでなく、東口区画整理も進んでいると思う。東と西が一体的に価値をあげていく、という表現がなされないのか。</p>
事務局	<p>北秋津の暫定逆線引きの部分については、文中の「駅周辺地域の回遊性～」という表記に含めているが、書きぶりとして濃くないので、所管と調整を図っていく。元々、東西をつなぐふれあい通り線によって一体となることは意識している。</p>
委員	<p>資料 2 P29 の 地下鉄 12 号線については、ところざわサクラタウンがオープンし、その実現性が増してきていると思うが、一方で、所沢市のバランス良い発展を図るという観点から、小手指方面への多摩モノレール延伸についても具体的に書けるものはないのか。</p>
事務局	<p>何もしないということではないが、市の施策の方向性として整理できていない段階であり、今の時点で記載までには至っていない状況である。</p>
委員	<p>団塊世代も 2025 年には全員が 75 歳以上になると言われている。</p>

	<p>資料 2 P28 の「地域の絆づくりを大切にする」のところで、元気なシニアのボランティア活動などについての表現がないのでは。</p>
事務局	<p>シニアも含めた絆づくりは様々な人材の活用する考えに基づき意識はしているが、書きぶりについては所管と調整して、なんらか反映していきたい。</p>
委員	<p>モノレール延伸については、市長が協議会会長になって進めてもらえれば、と思う。</p>
委員長	<p>鉄道路線の誘致については、誘致に成功したものの最後に大赤字で困ってしまうようなケースもあるので、先を見据え、負の遺産にならないように熟考の上、戦略を策定していただけたら、と考える。</p>
委員	<p>ある冊子で所沢市が災害に強い街、というのを見た。街の魅力として前面に出してアピールしてもいいのではないか。</p>
事務局	<p>民間の出したフリーペーパーに記載されている内容なので、そのまま情報を持ち出すことは難しいが、研究元に確認がとれれば、所沢市の魅力として打ち出していくことも可能と思う。</p>
委員長	<p>渋滞緩和について、右折レーンの増設など、渋滞状況をこまめに見て、工夫すれば、変えられるところがあるのではないか、と思うので、そのような取り組みも検討いただきたい。</p>
	<p><u>(3) その他</u></p>
	<p>特になし。</p>
	<p style="text-align: right;">以上</p>